

令和4年6月28日

令和5年度総合型選抜ゼミナール入試（農学部環境資源科学科）の最終選考方法の変更について

農学部環境資源科学科において実施している総合型選抜ゼミナール入試について、令和5（2023）年度入試（令和4（2022）年度実施）から、最終選考方法（大学入学共通テスト利用の合格者決定方法）を次のとおり変更します。

なお、令和5（2023）年度総合型選抜募集要項は、令和4年7月下旬頃公表予定です。

【変更前】

【最終選考合格者】

令和5年度大学入学共通テストにおいて、受験を課す教科・科目の合計得点である600点のうち、70%（環境資源科学科が定める合格基準点420点）以上獲得した受験生を最終選考合格者とします。

【変更後】

【最終選考合格者】

令和5年度大学入学共通テストにおいて、受験を課す教科・科目の合計得点が、大学入試センターが発表する該当教科・科目の平均点の合計の1.2倍以上である受験生を最終選考合格者とします。

（注）理科（配点200点）の平均点は、物理、化学、生物、地学のそれぞれの平均点を合計した値を0.5倍したものとします。

（注）外国語（英語、配点200点）の平均点は、リーディングの平均点の1.3倍とリスニングの平均点の0.7倍を合計した値とします。